

医療法人社団 誠仁会を受診された患者さまへ

当会では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

施設名	誠仁会 みはま病院、みはま佐倉クリニック、 みはま成田クリニック、みはま香取クリニック
研究課題名 (研究番号)	透析患者における心臓足首血管指数の意義に関する研究 (26 - 010)
当会の研究責任者	白井厚治 誠仁会みはま病院 内科
他の研究機関および 各施設の研究責任者	ありません
本研究の目的	<p>透析患者さんでは、一般に動脈硬化の進展が早く、心臓血管疾患による死亡率が高いと言われていています。動脈硬化度を計測する指標として、当施設では、1996年から侵襲の少ない心臓足首血管指数 (cardio-ankle vascular index=CAVI) を用い、その有用性を検討し、すでに、生命予後に関する閾値、透析時の血圧CAVI変動との関係などを報告してきましたが、すでに約20年近くたち、新たに動脈弾性指標CAVIの意義を見直す必要性が出てきました。そこで以下を明らかにすることにしました。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 透析患者のCAVIの実態を、非透析者19624名を対象に、男女別、年齢別に明らかにする2) 8年間の生存率について、CAVIの域値を明らかにする。3) 冠動脈疾患の有無、冠動脈危険因子について、CAVIへの影響を明らかにする4) 左室機能に対してCAVIは、後負荷として作用し、左室負荷と関係のあることが明らかにされた。透析患者でのこれらの関係について、左室駆出率、拡張能、さらに左室負荷の生化学的指標であるNTproBNPとの関係を明らかにする5) 最近、心機能と栄養との関係がしてきされている。そこで、血管弾性能CAVIと栄養関連因子 (アルブミン、コリンエステラーゼ、ヘモグロビン、リン、カルシウム、マグネシウムなど) との関係性を明らかにする6) 透析中の血圧変動に伴って、CAVIは変動することを見出し発表してきたが、さらに血圧低下時に、CAVIは通常上昇するが、低下する例もありその成因を明らかにする。
調査データ 該当期間	2017年4月1日—2027年12月31日
研究の方法 (使用する試料等)	これまで、原則、年一回計測してきたCAVI値を用いて、非透析者との比較、生命予後との関係、冠動脈危険因子との関係、左室機能との関係、栄養因子との関係などについて、これまでえられた生理学的検査、生化学的検査値を用いて解析します。さらに、交感、副交感神経の関与を明らかにするため、心拍変動も解析する場合があります。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	ありません
個人情報の取り扱い	患者さん名は、登録時、暗号化し、実名など特定できないようにいたします。
本研究の資金源 (利益相反)	特に資金は必要ありません。この研究に関する企業との関係で利益相反はありません。
お問い合わせ先	誠仁会 みはま病院 内科、研究開発部 白井厚治 電話： 043-271-2200